

【大型船舶の安全対策について】

網走港ローカルルール

平成26年6月11日 網走港船舶航行安全対策検討会

対象岸壁	第4ふ頭2号岸壁 水深 -12.0m		備考
対象船舶	3万DWT級貨物船	5万GT級旅客船	
航路	喫水を10.9m以下に調整すること 航路幅員0.5L以上1.0L未満の船舶は曳船の支援を得ること 航路幅員0.5L以上1.0L未満の船舶は入出港時の行会い・競合の調整を行うこと		10%の余裕水深を常時確保すること
喫水	10.9m以下		10%の余裕水深を常時確保すること
水先人	要	要	
タグボート	3,000馬力級1隻と低出力タグの 2隻配備	1隻以上配備 3,000馬力級	
夜間入港	不可		
夜間停泊	可		
夜間出港	可（前路警戒船が先導するなど必要な対策を行うこと）		
入出港時 風速	入出港時 平均風速 10m/s以下		
波浪	港内波浪が概ね1m以上となるときは、入出港を中止することを検討する。		
視界	泊地から防波堤間付近が見通せる視界1,000m以上とする。		
接岸速度	10cm/s以下		
係留	係留中に入出港時風速基準を越えると予想される場合は強風対策を実施する。		

【各対象船舶共通】

係留時等の安全対策について

行会い・競合の回避対策

網走港に入出港する船舶の出入予定時刻を関係機関と調整する。

強風対策

最新の気象情報を入手し、入出港時風速基準を越えると予想される場合は、次の安全対策をとり、状況に応じて港外避泊するものとする。

- ①係留索の増取りを行う。
- ②サイドスラスターを準備し、適宜使用する。
- ③必要に応じ押しつけ用のタグボートを配備する。

工事中の対策

航行に支障がない場合は、入港を可とする。

異常気象・地震・台風・津波時の対策

台風や津波などの異常気象が予想される場合、「オホーツク海沿岸地震・津波・台風等対策連絡会」の指針に従うこととする。

また、対象船舶については、本船船長の判断により離岸、避泊するものとし、避泊にあたっては時間的余裕をもって行動する。

入出港経路の周知

対象船舶は、釧路水先人会の水先人を有して入港してくることになるが、入出港経路については、別紙のとおりとする。

また、網走港へ入港する船舶へ「ホタテ中間育成区域」、「定置網の位置」などの周知を行う。

周知の方法は、船舶代理店から情報提供をお願いする。

水先人の乗船位置

水先人の乗船位置は、検疫錨地の東端とする。（詳細日時や場所は、釧路水先人会と調整すること。）

合意事項の周知

検討会にて決定した事項に関しては、安全かつ効率的な運用のため、船舶関係各社及び関係船舶に対し、本合意事項の周知と確実な励行を図るものとする。

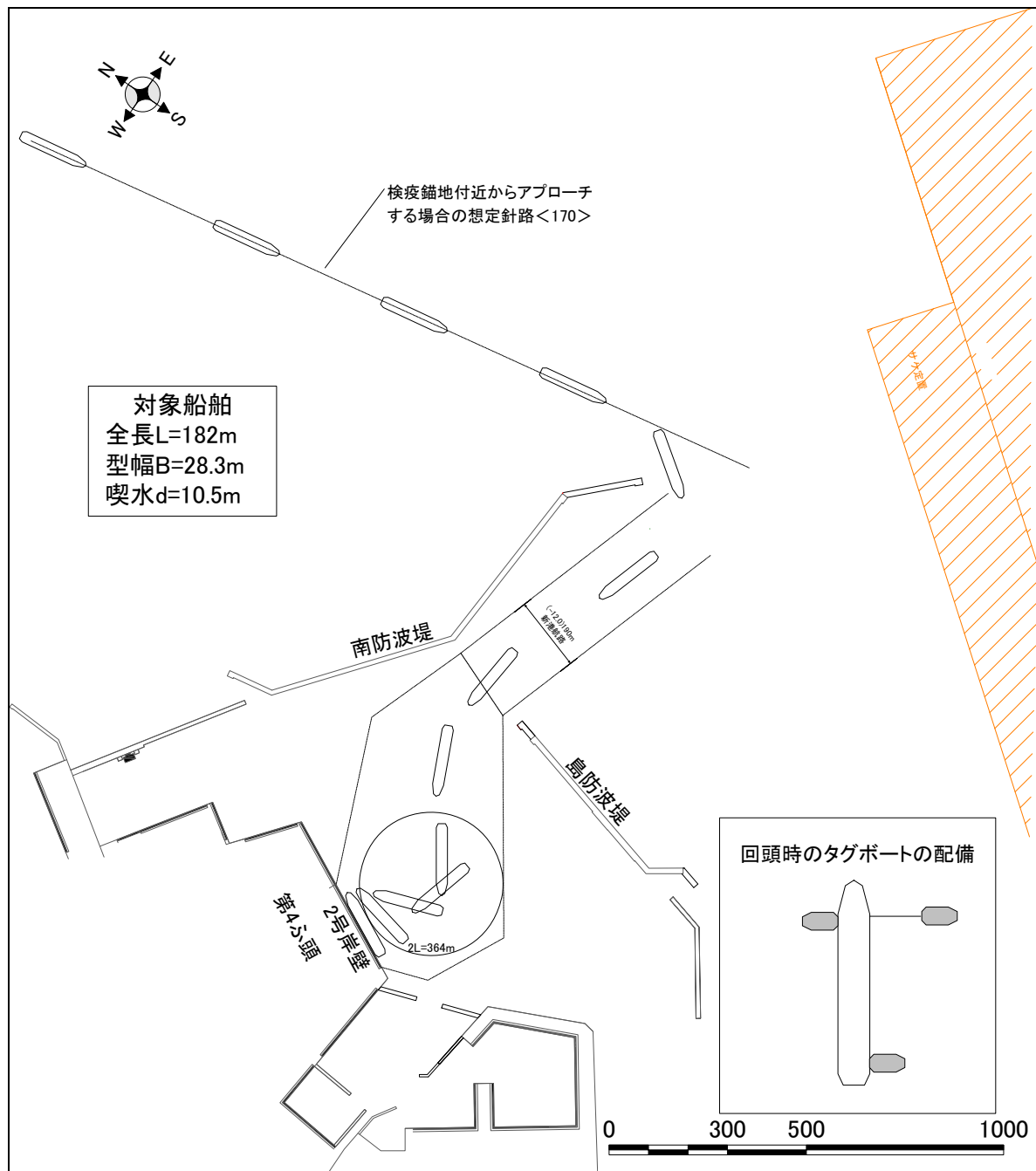


図.1 入港操船例図 (30,000DWT 級貨物船 L=182m)

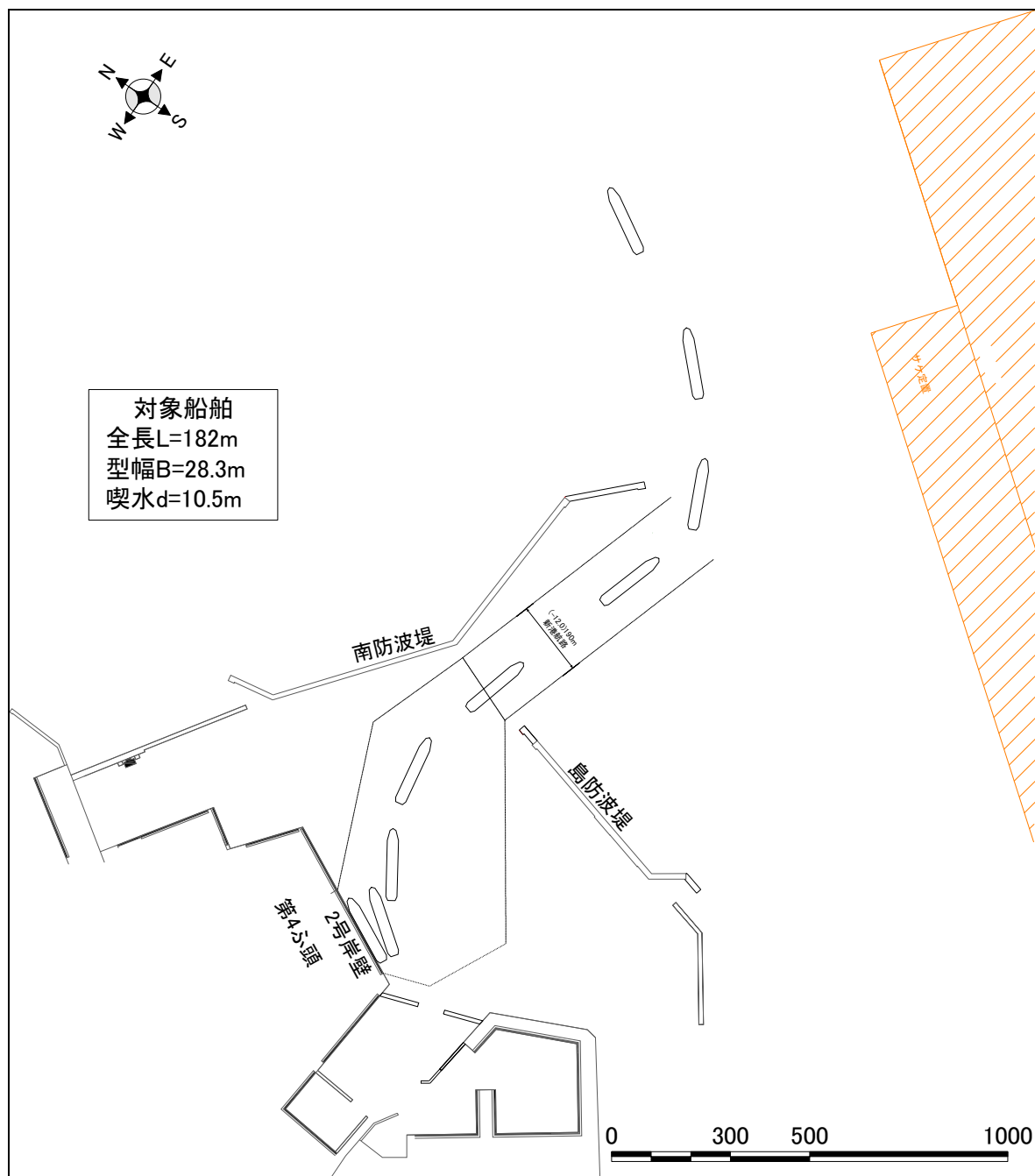
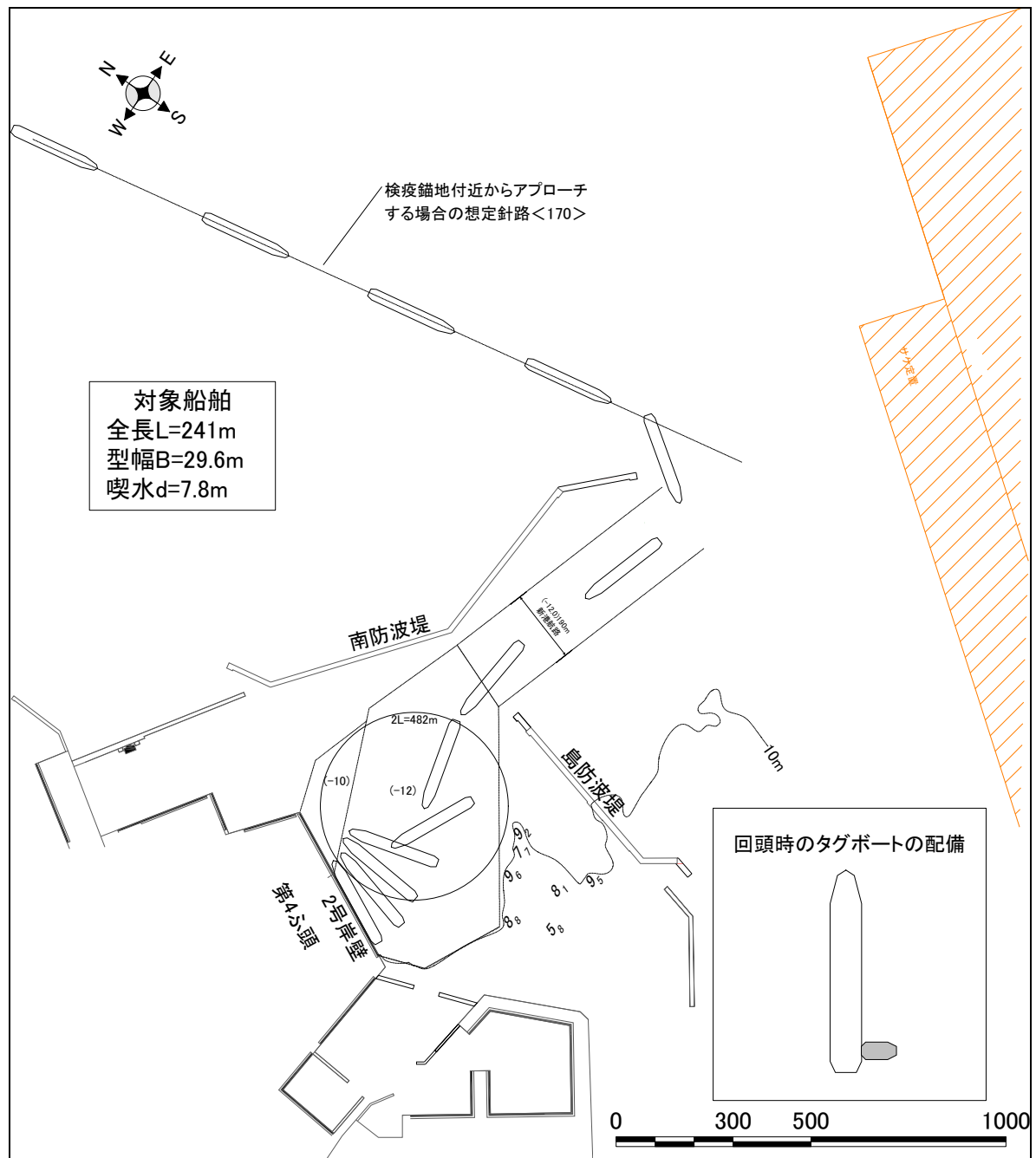
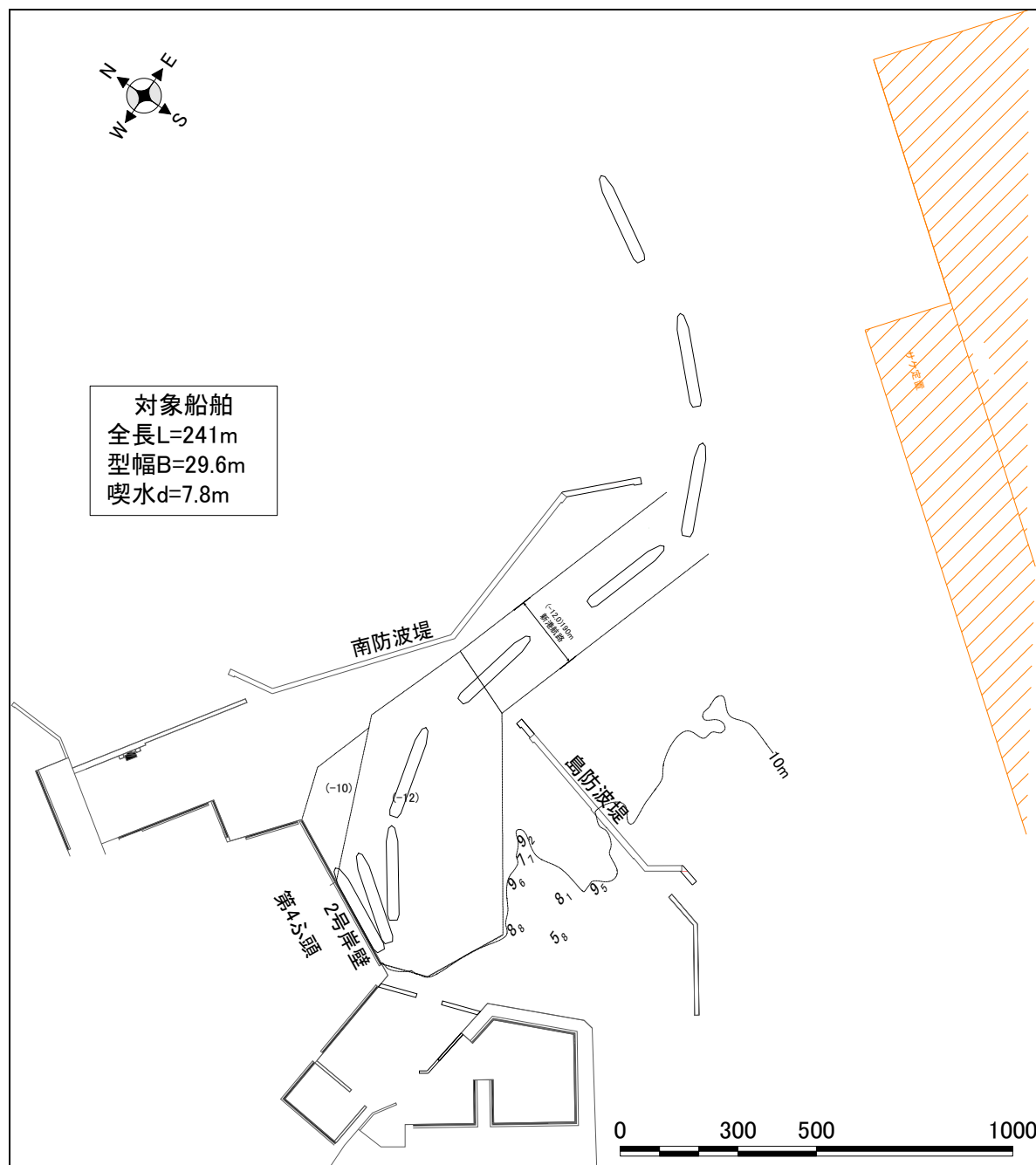


図.2 出港操船例図 (30,000DWT 級貨物船 L=182m)



水深及び 10m 等深線は、海図 W29 による

図.3 入港操船例図 (50,000 総トン級旅客船 L=241m)



水深及び 10m 等深線は、海図 W29 による

図.4 出港操船例図 (50,000 総トン級旅客船 L=241m)